

1. 主要事業等の概要

(1)北海道教育大学第 III 期中期目標・計画(図書館担当の実施について)

第Ⅲ期中期目標・計画(図書館関係)

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

- 1 教育に関する目標 (2)教育の実施体制等に関する目標
- 3 学生の主体的・能動的学びを支援する環境整備に取り組む。

【中期計画番号8】学生の主体的・能動的学びを促進するため、ラーニング commons の整備や e-ラーニングで利用可能なデジタルコンテンツの拡充等学修環境を整備する。

●令和2年度附属図書館計画

ラーニング commons 利用実態の定量的・定性的な評価方法を検討し、それに基づき、ラーニング commons 及び図書館機能強化プロジェクトの効果を検証するとともに、その結果を受けて、プロジェクトの見直しを行う。また、ラーニング commons 未整備館については、引き続き、設置に向けて計画を整備する。

●令和2年度年度計画の実施状況

取組内容

◎ラーニング commons (以下、「LC」)について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、休館、開館時間短縮、利用制限等の措置を行った。そのため、グループワーク、ディスカッション等の LC の特色を活かすことは困難であった。
- ・LC の評価方法については、構成館連絡会議等において検討し、定量的方法については、利用人数、利用時間、利用場所及び LC 設置前後の入館者数、貸出冊数等の比較、定性的方法については、アンケートやインタビュー等により、LC の効果を評価する方法案を提示した。
- ・岩見沢館の LC については、数年間に渡る精査を経て、令和3年度に整備されることが決定した。既設の旭川館、釧路館、札幌館の利用状況や什器等の構成を再確認し、音楽・美術の学習活動を支援するための機能・スペースを有する整備計画案を作成した。
- ・函館館では、「グループワーク兼プレゼンテーションエリア」、「ラウンジエリア」、「自習エリア」、「情報検索エリア」で構成される LC を計画。特に「グループワーク兼プレゼンテーションエリア」に重点を置き、設備充実と機能強化を図る内容の計画案を作成した。

◎機能強化プロジェクトについて

- ・新型コロナ禍において、機能強化プロジェクトの規模を縮小及び変更して実施した。
- ・札幌館では、平成30年度から開始したラーニングサポーターを継続した。コロナ禍に加え、改修工事により、LC のサポーターの配置は不可能であったため、オンラインによる学修相談デスクを開設した。また、サポーターにより、あるテーマを調べるときに役立つ資料であるパスファインダーの作成に取り組んだ。
- ・旭川館では平成30年度から開始した学修サポーターを継続した。コロナ禍により休館期間があったが、開館再開後、館内及びオンラインでの相談受付を実施した。
- ・釧路館と岩見沢館では「レポート・論文の書き方」ベーシックセミナーを共同開催した。コロナ禍のため Zoom によるオンライン講座として実施。自宅、学習室(釧路館 LC)、講義室(岩見沢校)から参加、視聴した。
- ・函館館では令和2年度小学校教育実習の最終課題として提出された学習指導案 47 件の電子化作業を実施した。

取組の効果

- ・ラーニング commons の活用はできず、附属図書館機能強化プロジェクトも縮小や変更を余儀なくされたが、一方で、リモートによるサービス促進の道筋を見いだすこととなった。通常開館、ラーニング commons 利用が従前に戻ることができた場合でも、リモートサービスは並行して展開することが期待できる。また、プロジェクト内容の見直しを検討する契機ともなった。
- ・ラーニング commons 整備は、令和3年度に岩見沢館で実現する見込みとなった。

取組の総括

- ・新型コロナウイルスの影響により、LC の効果を検証することはできなかったが、LC の定量的、定性的な評価方法について検討し、評価方法案を作成した。
- ・附属図書館機能強化プロジェクトを縮小、変更しつつも実施することで、新型コロナウイルスの影響を受けた厳しい状況下において、学生への学修サポートを多少なりとも継続することができ、学生の学力向上に寄与することができたものと思われる。
- ・3年間見送りとなった LC の整備について、4 館目(岩見沢館)の整備が決定した。

●令和3年度年度計画

ラーニング commons 設置館における学修環境整備、及び学修効果について検証する。また、附属図書館機能強化プロジェクトの効果についても検証、総括する。検証は、利用数等の定量的方法、及びアンケート実施などの定性的方法により行い、その結果を基に改善を図る。さらに、それらの検証結果、総括を踏まえ、ラーニング commons 未設置館の今後の在り方、方向性を検討する。

(2) 附属図書館機能強化プロジェクト等

構成館	内 容	実施時期
札幌館	オンラインを活用した学修相談等	令和2年10月～12月
旭川館	学修・利用支援サポーターの配置	令和2年10月～令和3年2月
釧路館・岩見沢館共催	レポート・論文の書き方ベシックセミナーの開催	令和2年12月10日
函館館	学習成果物の収集・公開	令和2年2月～3月

2. 主な行事・会議等

開 催 日	行事・会議(会場等)
令和2年4月16日～4月24日	第52回国立大学図書館協会北海道地区協会総会(メール会議)
令和2年4月30日～5月13日	第52回国立大学図書館協会北海道地区協会総会(第2回メール会議)
令和2年6月15日～6月19日	北海道地区大学図書館協議会令和元年度3回幹事館会議(持ち回り)
令和2年6月19日～6月29日	第67回国立大学図書館協会総会(オンライン投票)
令和2年6月25日	第1回附属図書館運営委員会(TV会議)
令和2年7月10日～7月15日	北海道地区大学図書館協議会令和元年度第4回幹事館会議(持ち回り)
令和2年8月17日～8月20日	第70回北海道地区大学図書館協議会総会(書面審議)
令和2年8月17日～8月21日	第2回附属図書館運営委員会(メール会議)
令和2年10月7日	第3回附属図書館運営委員会(TV会議)
令和2年10月16日	第53回国立教育系大学図書館協議会総会(オンライン会議)
令和2年11月30日	令和2年度国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議(オンライン会議)
令和2年12月22日	北海道地区大学図書館協議会令和2年度第1回幹事館会議(オンライン会議)
令和3年2月4日～2月8日	第4回附属図書館運営委員会(メール会議)
令和3年3月11日～3月16日	第5回附属図書館運営委員会(メール会議)

3. 各種研修等の受講状況

研 修 名	開催日	主催・会場	受講者数
国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区協会令和2年度企画事業「コロナ禍を生き抜く！大学図書館のリモートサービス基礎知識」	令和3年2月5日	国立大学図書館協会北海道地区協会 オンライン形式	札幌館5名 旭川館4名 釧路館1名 函館館2名 岩見沢館4名
キャンパス・コンソーシアム函館 ライブラリーリンク研修会「テクノロジーが変える図書館のカタチと未来」	令和3年3月8日	キャンパス・コンソーシアム函館図書館 連携プロジェクトチーム オンライン形式	函館館2名